

平成26年度

保育士における 業務の負担軽減に関する 調査研究報告書



社会福祉法人 日本保育協会

保育士における業務の負担軽減に関する調査研究報告書

社会福祉法人 日本保育協会

序

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「平成26年度保育士における業務の負担軽減に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

本調査研究事業は、保育所保育士の業務の負担軽減について研究を行い、認可保育所で働く保育士の過重な労働と業務の負担感を軽減し、長期勤続していくために有効な提言を行うことを目的として、実態調査を行ったものです。

今回は認可保育所保育士を調査対象として、全国の認可保育所の10分の1抽出による調査票調査を行いました。

そこで、保育士の業務負担感になっている主なものとして書き物をクローズアップしました。また、解決の糸口としての保育所業務のICT化についても調査をしています。これらを通じて、保育士が長く働き続けることは、特に現在の保育所における保育士不足の解消にも寄与することと存じます。

本書が、保育所における保育士の業務負担軽減につながることを望むものであります。

このたびの調査研究事業の実施にあたりましては、高橋 紘委員（至誠保育総合研究所）、溝口元委員（立正大学大学院）、普光院亜紀委員（保育園を考える親の会）、田中浩二委員（東京成徳短期大学）、青山弘忠委員（三重県鈴鹿市・いそやま保育園）、渡邊泰學委員（山口県岩国市・川西保育園）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査対象保育所の皆様にご協力いただいたことに対しまして、深甚の感謝の意を表するものであります。

平成27年3月

社会福祉法人 日本保育協会

目 次

序

第1章 調査研究の目的及び方法	1
-----------------	---

第2章 総論 保育士における業務の負担軽減に関する課題	高橋 紘 委員	7
-----------------------------	---------	---

第3章 調査結果の概要分析	溝口 元 委員、田中 浩二 委員	17
---------------	------------------	----

第4章 各委員による調査結果の詳細分析及び考察

(1) 調査票Ⅱ「書き物について」	青山 弘 忠 委員	51
-------------------	-----------	----

(2) 調査票Ⅲ「ICT化について」	渡邊 泰 學 委員	59
--------------------	-----------	----

(3) 調査票Ⅳ「保育士が長く働き続けるために」	普光院 亜 紀 委員	72
--------------------------	------------	----

第5章 展望編

(1) 保育士における業務の負担軽減に関する展望1	高橋 紘 委員	83
---------------------------	---------	----

(2) 保育士における業務の負担軽減に関する展望2	溝口 元 委員	94
---------------------------	---------	----

付 録

平成26年度保育士における業務の負担軽減に関する調査票	107
-----------------------------	-----

保育士における業務の負担軽減に関する調査研究委員会及び執筆者一覧	297
----------------------------------	-----

